

レッツ! 介護予防

健康で活力ある生活を送るために ～基本チェックリストにお答えください～

足腰の老化など、加齢などに伴う生活機能の低下をいち早く発見する取り組みの一環として、要介護認定を受けていない倉吉市内の65歳以上の人に、「基本チェックリスト」を4月下旬に送付します。

回答を記入し、同封された封筒で返送してください。内容を長寿社会課で確認し、介護予防の必要がある人には、個別に通知をします。

問 長寿社会課 (☎ 22-7851 / ☎ 22-2954)

4月の認知症の人と家族の会 「家族の集い」

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り合い、分かち合ったり、情報交換したり、何でも話し合える場です。気軽に参加してください。

関金会場 4月・7月・10月・1月の第1木曜日

と き：4月5日(木)午前10時～正午

ところ：高齢者生活福祉センター

倉吉会場 第3木曜日

と き：4月19日(木)午前10時～正午

ところ：倉吉交流プラザ

問 長寿社会課 (☎ 22-7851 / ☎ 22-2954)

4月ホッといきいき教室 ～介護予防教室～

【と き】4月23日(月)午前10時30分～午後3時

【内 容】午 前：レクリエーション

午 後：自由時間(脳トレクイズ、ニュースポーツ、健康相談など)

【ところ】グリーンスコアセキがね

【参加料】1,300円(昼食・入浴料)

【募集条件】65歳以上で、介護認定を受けていない人
※毎月、申し込みが必要です。

※送迎希望の場合は、送迎しますのでご連絡ください。

問 長寿社会課 (☎ 22-7851 / ☎ 22-2954)

「はつらつ教室」 ～4月より市内9会場で実施～

4月より市内9会場で実施します。

この教室では、毎日を生き生きと暮らしていくための「元気な体づくり」を目指して、運動の習慣を身につけていきます。

一人では、つい面倒になる体操も、みんなですると、笑いながら楽しくできます。

【対象者】65歳以上で、介護認定を受けていない人

【内 容】軽い運動・レクリエーション・脳トレ

【参加料】無料

【会場と日程】※1会場で月2回実施、1回あたり約2時間。

会 場	日 程
上井公民館	第2・4火曜日午前
西郷公民館	第2・4水曜日午前
上灘公民館	第1・3木曜日午後
成徳公民館	第2・4水曜日午後
小鴨公民館	第1・3月曜日午後
灘手公民館	第1・3水曜日午後
社公民館	第2・4木曜日午後
さわやか人権文化センター	第2・4木曜日午前
高齢者生活福祉センター	第1・3金曜日午後

※事前に申し込みが必要です。

※送迎には条件がありますのでお問い合わせください。

問 長寿社会課 (☎ 22-7851 / ☎ 22-2954)

介護用品代の助成があります

次の条件のすべてに当てはまる場合に、介護用品の購入費を助成します。

- ①要介護認定で要介護4、または5と認定された人を在宅で介護している場合
- ②介護されている本人の世帯、および介護している人の世帯が市民税非課税の場合

対象品目：紙おむつ・尿とりパット・清拭剤・介護用使い捨て手袋・使い捨て清拭タオル・ドライシャンプーなど

助成方法：倉吉市に登録のある店舗で、介護用品購入に使用できる助成券を支給

助成額：年額5万円以内

問 長寿社会課 (☎ 22-7851 / ☎ 22-2954)



私を動かすのは、私。

妻になって母になって、
もう一度、働きたいと思った。
その気持ちを大切にしよう。
自分の背中を押してあげよう。



ご案内
説明会の

4/9(月)・4/18(水)
10:30～12:30

倉吉未来中心 セミナールーム4

教室を開設する方は、日本公文教育研究会とフランチャイズ契約を結ぶことになります。

あなたのその想いに、KUMONは応えたい。
くもんの先生になりませんか

先生のリアルな声があなただを動かす。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-834-414
受付時間 9:30～17:30 土・日・祝日を除きます 日本公文教育研究会



広報資料部!! 倉吉市総合政策課
(☎ 22-8161 / ☎ 22-8144)



まちかど ピンナッツ

～平成23年度倉吉市体育協会スポーツ表彰式～ 今後の活躍も期待しています

2月19日(日)

このスポーツ表彰は、長年にわたり本市のスポーツ振興に寄与したり、今年度のスポーツ大会などで優秀な成績を収めた個人・団体を表彰するものです。今年度は34団体、延べ302人が受賞し、倉吉未来中心小ホールで表彰式が執り行われました。

受賞された皆さん、おめでとうございます。

【体育功労賞】2人 【体育奨励賞】4人
【スポーツ賞】個人：58人 団体：14団体(51人)
【スポーツ奨励賞】個人：46人 団体：20団体(141人)



～倉吉市イメージキャラクター愛称最優秀賞表彰式～ 若者が「くらすけえ」と言えるまでに

2月29日(水)

倉吉市イメージキャラクターの愛称募集には、県内各地より延べ959点の応募がありました。厳正な選考の結果、「くらすけくん」に決定し、名付け親の福有愛さん(市内在住)を市役所に招いて表彰式が行われました。

石田市長が「ぴったりな名前をつけてもらい、一層、倉吉のイメージアップにつながるキャラクターになった」とお礼を述べると福有さんは、「くらすけ(=暮らすけえ)の名前のように、若者がたくさん住むまちづくりに役立てばいい」とあいさつしました。



～福尾野歩コンサート～

「おひさま」より感謝を込めて

3月13日(火)

子育て総合支援センター「おひさま」は、平成19年5月から旧上灘保育園園舎を利用し、皆さんに親しまれてきました。

しかし、この春、市営うわなだ中央住宅に移転することになり、最後に、今後もたくさんの笑顔に出会えることを願って、全国で活躍する福尾野歩さんのコンサートを開催しました。

“野歩さん”は、軽妙なトークや手遊び、手品などを披露し、集まった約30組の親子を魅了。会場には終始、笑い声や笑顔があふれていました。



広告募集
倉吉市総合政策課
TEL 221-8161
FAX 221-8144

今月の福祉補聴器相談会

日時：4月25日(水) AM10:00～12:00
相談会は、毎月第四水曜日です。
場所：市役所東庁舎1階 福祉課横 倉吉市福祉事務所

補聴器 聴力測定室 完備
点検・調整 いつでもOK
岩間眼鏡店

倉吉市鍛冶町 ショッピングセンターめいりん内
TEL0858-22-5551 営業時間 あさ9時～よる7時(木曜定休)

パソコン修理・データ復旧

年中無休・ご相談・お見積無料

パソコントラブルでお悩みの方は是非
ご家庭・職場のPC環境をフルサポート!!

ワイスパニエール

9:00～19:00

倉吉市堺町2丁目239-41
堺町バス停から徒歩1分

内閣府認証 パソコン整備士協会登録

TEL0858-23-4564

気軽にご連絡を! 地方配送いたします。

- 奥出雲はざかけ コシヒカリ 3,600円/10kg
- 三朝コシヒカリ 3,400円/10kg
- 新米コシヒカリ 3,200円/10kg
- コシヒカリブレンド 2,800円/10kg
- 玄米 2,700円/10kg
- モチ米 400円/1kg

秋本農園

0120-366220

倉吉市大塚(秋本吉人) 026-4128/026-4138





倉吉市の人権施策について

お互いを認め、尊重し合える人権文化のまちづくりをめざして

人権意識の向上を目指して

倉吉市は、全ての市民が「差別されることなく、安心して暮らすことのできるまち」づくりを目指して、さまざまな人権施策を推進しています。

人権は、人種、性別、社会的身分に関係なく、人間であるというただそれだけで、誰もが持っているものです。そして人々は、今も昔も、自由に、安全に、そして将来に可能性を感じながら生きていくと願っています。

近年、被差別当事者や市民一人一人の人権意識の高まりによって、部落問題をはじめ女性、障がいのある人、子ども、高齢者、外国にルーツを持つ人などの差別や人権侵害が問題提起されるようになってきました。

一方では、同和教育の中心課題である部落問題の解消を目指す人権意識が希薄になったり、同和教育の必要性を否定するようないか、「もう差別はなくなっているのではないか」、「いつまで同和教育をするのか」などの声も聞かれるようになり、意識の低下が懸念されています。

このような意見には、自分の人権には関心が高い反面、周囲の人権は人ごとになっている意識があるのではないのでしょうか。

基本姿勢

本市では、部落問題をはじめ、障がいのある人、男女、先住民族、外国にルーツを持つ人、子ども、高齢者、その他マイノリティの人などの人権課題の解消に向けて、「第4次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」を策定し、行政と市民との協働を図りながら、さまざまな学習機会や情報提供に努めています。

しかし、近年では本人以外の第三者による戸籍謄本などの不正取得が行われ、個人情報情報が違法に入手されていることが判明しました。

また、インターネット上には差別に利用される危険性のある同和地区の地図が掲載されたままであったり、特定の人を誹謗中傷した、名誉毀損にあたるような記述もあります。

このような差別の解消を図るためには、一つには行政と市民とが協働して、市民一人一人が同和教育に理解を深め、差別を許さない人権意識の向上を図ることが大切です。

二つ目は、個人が、これまでの同和教育の成果を、あらゆる人権課題やさまざまな地域課題を自らの課題として解消していく力に発展させることが必要です。

三つ目に大切なのは、各種市民団体の育成や、当事者団体の支援を行い、被差別の実態や少数者の意見を大切にすることです。

主な取り組み

今年度は、「部落解放研究倉吉市集会」が40周年を迎えます。これを機に、本市は、さらに市民一人一人の心に響く、教育研究や地域活動の実践交流の充実を図ることにしています。

また、「倉吉市部落解放文化祭」、「人権のために学ぶ同和教育講座」、「同和教育町内学習会」などを、地域に残る解放への歩みや文化の伝承、または、多様な人権課題を学習する機会や、地域のさまざまな課題を互いに話し合い、解決するきっかけとなるよう充実を目指します。

また、年代別・地域別の成果や課題を把握するため、市民人権同和問題意識調査を実施します。

おわりに

昨年3月、未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、絆を深め、コミュニケーションをつくることの大切さが叫ばれました。改めて、同和教育に学び合い、つながり、支え合うことが大事ではないのでしょうか。

債務整理・過払い金返還請求・自己破産・個人再生 完済した方も完済後10年以内なら過払い金を取り戻せる可能性があります。完全予約制の相談会です。家族に内緒の方も、お気軽にご相談ください。また完全予約制ですので他の方と顔を合わせる事もございません。ご安心ください。

借金問題解決します

出張無料相談会

相談会予約ダイヤル 0120-113-314

平日・土日祝 / 10:00 ~ 21:00

米子コンベンションセンター 4/21土 4/22日 4/23月

第5会議室 鳥取県米子市末広町294 ●米子駅から徒歩5分 [無料駐車場あり]

倉吉体育文化会館 4/21土 4/22日

小研修室1 倉吉市山根529-2 ●JR山陰本線倉吉駅下車徒歩12分 [駐車場あり]

境港市市民会館 4/23月 [駐車場無料50台]

第1会議室 境港市上道町3000 ●JR境線 馬場崎町駅下車徒歩約10分

セキアトラス法律事務所

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-8-3 TOC 第一ビル5階
メールアドレス: info@saimu0.net
モバイルサイト: http://saimu0.net/
ソフトバンク携帯: 080-4123-1996(相談会期間中はこちらへ)



広告専属!! 倉吉市総合政策課
☎22-8161 / ☎22-8144





幼い時の記憶

先月、日本映画の「ALWAYS 三丁目の夕日6」を観ました。戦後の日本が、めざましい復興と経済発展をしていた時期を描いた映画のシリーズです。皆さんはご覧になったことがありますか？

映画を観ながら、その時代を懐かしく感じて、周りの日本人に話すと、「えっ、鄭さんっていくつなの？その時代ってかなり昔でしょう？」と言われます。

私の世代が日本の60〜70年代に当たると思います。

戦後の日本は、1950年ごろから経済発展を始め、64年に東京五輪を開催し、70年の大阪万博を経て、80年代の豊かな時代を迎えたと聞いています。

韓国の経済発展の流れは、45年に独立した後、50年に朝鮮戦争が始まりました。3年間続いたこの戦争は、韓国に深い傷跡を残しました。

60年代に入り、徐々に経済発展をしますが、80年代になるまで一般市民にとっては、まだまだ厳しい時代だったと年配の方からよく聞かれます。

「ALWAYS三丁目の夕日64」の中で、東京五輪に合わせ、カラーテレビを購入するシーンがあります。私の家にカラーテレビがやって来たのは、80年代です。それまで家で使っていたテレビは、四つ足でスライド式のドアが付いた白黒テレビでした。チャ

ネルはリモコンではなく、つまみを回すもので、壊れるとペンチを使ってチャンネルを変えた記憶があります。

また、その時代に我が家で使っていた調理器具は、石油コンロでした。灯油に浸か

た芯を上げ、マッチで火をつけて使用するもので、子どもには危なくて、なかなか使うことができませんでした。

このように私の幼いころの記憶は、日本の60〜70年代と重なります。日本と10〜20年ほど経済的時差があつた韓国は、88年のソウル五輪を経て飛躍的に発展し、2002年サッカーワールド大会のころからは、日本との差を感じなくなりました。

どこか懐かしい雰囲気のある倉吉が大好きなのは、幼い時の記憶に理由があるのかも知れません。



▲70年代の韓国の白黒テレビ

●今月の一言●
「クリウム」
「懐かしいです。」

鳥取短期大学

第40回卒業式・第35回修了式を挙行

キャンパス だより 195



3月16日(金)、第40回卒業式・第35回修了式を倉吉未来中心大ホールで挙行し、本科生270人、専攻科生30人がそれぞれの進路に向かって希望を胸に巣立っていました。

式では、山田修平学長から各学科・専攻科の代表に卒業証書・学位記、修了証書が励ましを込めて手渡された後、専攻科国際文化専攻の細井義道さんに学位授与機構から教養学士の学位授与が行われました。

門出にあたって学長が、「人生のテーマと夢を大切に、常に学び続けてください。時間を大切に、場を整え、マナーを守ってください。それらは人生を充実したものにしてくれると思います。今度会うときは人生を真摯に生きる仲間として語り合いましょ」とメッセージを贈りました。また、来賓の藤井喜臣副知事からは温かい励ましのお言葉をいただきました。

学友会会長河本太陽さん(幼児教育保育学科)は「心強い先輩として、時には優しく、時には厳しく、熱心に私

ちをリードしてくださいました。先輩方が築かれた伝統を受け継ぎ、より一層精進したいと思えます」と送辞を述べました。続いて、卒業生・修了生を代表して、萩原万葉さん(生活学科住居・デザイン専攻)が「今日卒業の日を迎えることができたのは、地域、教職員の皆様、そして家族のおかげであり心から感謝しています。短大での2年間はとても短いものですが、その中でさまざまな体験をし、多くのことを学びました。4月からの新生活では、短大で学んできたことを糧に前向きに挑戦していきたいと思えます」と答辞を述べました。

最後に「蛍の光」を斉唱して卒業式・修了式は終了しました。



▲式典終了後、在学生の企画による「卒業パーティー」が同会場で開催され、名残を惜しみつつ楽しいひと時を過ごしました。

